



社 会 社 説  
ス ポー ツ 藝 能  
経 済 政 治 学  
国 際 際 療 育

東急不動産の住まい(首都圏)  
**東急不動産**  
豊富な物件情報はここをクリック!

▶ 駅から徒歩3分以内  
▶ 都心マンション  
▶ 投資用マンション  
▶ 一戸建て

マネー | 住まい | IT | 旅行 | クルマ | 女性 | しごと | エンタメ | 読書 | ワイン | 写真  
記事検索 YomyClub プレゼント 小学館の雑誌 どんな新聞? M L B 報道  
天気 地図 English サイト案内 イベント 新聞購読 読売新聞へようこそ



注目情報 【PR】

■【どんと来い!】  
WEBで  
営業進捗、クレーム、  
日報管理。サイボウズ  
■最大13,000円  
キャッシュバック! IP  
電話であなたの新生活  
応援します!

文字サイズ + -

地域情報と  
ニュース  
東京  
読売新聞東京多摩

TOP > 地域情報とニュース > 東京多摩 > ニュース

ニュース

## 障害児の父、苦悩と喜びつづる

### 町田の父親 グループ出版



出版された本を手に語り合う「町田おやじの会」のメンバーたち

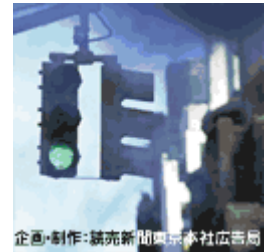
町田市内の障害児の父親グループ「町田おやじの会」が、「『障害児なんだうちの子』って言えたおやじたち」を出版した。障害児の父親十八人が、診断結果を知った衝撃、家庭や仕事への波紋、そして立ち直り、子どもがもたらしてくれる喜びなどを率直につづっている。

同会は四年前、同市内の療育施設に子どもを通わせていた父親らを中心に、母親に比べ、地域でのつながりが得にくい父親同士の情報交換を目的に結成された。現在では、インターネットでの呼びかけに応えた人を含め約四十人が機会を見つけては顔を合わせ、語り合う。メンバーは、自閉症、ダウン症など子どもの症状も違えば、職業や家庭環境も違う。障害児の親の会は各地にあるが、母親中心だったり、福祉施設や学校を拠点にすることが多く、父親の会はユニークだ。

出版された「『障害児なんだうちの子』って言えたおやじたち」では、父親たちは、子どもの障害を告げられた時のことを次のように記している。「昨日まで友達だった人生というものが、急に牙をむいて襲ってきたような、そんな感じがした」「自分勝手に弱い私は、自分の不幸を嘆きました。家族の、いいえ、自分の明るい未来が、音を立てて崩れたような気がしました」

告知を受け、会社を辞めたり、海外赴任から帰国したり、「主夫」を引き受けたりした父親もいた。一方、仕事に新たな意味を見いだした父親は「子どもたちが乗り越えるべき障害の最たるものは、能力不足でなく周囲の理解不足」と痛感し、理解者を増やすため、医師として勤務する大学病院で医学生らの指導に情熱を注ぐ。

▶ 映像NEWS  
・北の人権非難決議案



編集長のおすすめ

- ◆ 棋聖戦
- ◆ 巨額為替介入の功罪
- ◆ 春の軌跡
- ◆ F1ウォッチ
- ◆ 寄席の色物「太神楽」
- ◆ イタリアの食揃う店
- ◆ アルバムソフト
- ◆ 食は東京にあり
- ◆ 高齢者向け住宅
- ◆ いきめる無痛分娩
- ◆ 50歳からの挑戦
- ◆ おもしろ日中雑学

▶ データベース  
文書館 | 写真館  
スクールヨミダス  
読売新聞CD-ROM版

- ▶ 大手小町
  - ・ 吉田日出子さん
- ▶ @マネー
  - ・ 人間並みペット裁判
- ▶ ホームガイド
  - ・ 切妻屋根
- ▶ 医療・介護
  - ・ 子どもの副鼻腔炎
- ▶ ネット&デジタル
  - ・ サーバー侵入被害
- ▶ @CARS
  - ・ 元レーサーが市販車
- ▶ 旅ゆーん!
  - ・ ハーバード大学

- ▶ 各県のトップ
- ▶ 都内の天気予報
- 11日 12日
- ▶ イベント情報
- ▶ リンク集
- ▶ 取材網
- ▶ 読売グループ
- ☑ メールはこちらへ

- 特集
- ◆ 知床特派員
  - ◆ うまいもの図鑑 甲信越
  - ◆ 暮らしと地方自治
  - ◆ 首都圏イベント/シティライフ

エリア発  
関西 北海道  
中部 北陸 九州

他支局へ ▶ 一覧

北海道 青森 岩手  
宮城 秋田 山形  
福島 茨城 栃木  
群馬 埼玉 千葉  
東京 神奈川 新潟  
富山 石川 福井  
山梨 長野 岐阜 三重  
静岡 岡崎 京都 大阪  
滋賀 奈良 和歌山  
兵庫 京都 徳島  
鳥取 島根 岡山  
広島 山口 広島  
香川 愛媛 高知  
福岡 佐賀 長崎  
熊本 大分 宮崎  
鹿児島 沖縄 鹿児島

やがて、落ち着きを取り戻した父親たちは明るい。「息子のおかげでいろいろな経験をさせてもらったことに、感謝したい」「私は小さいころから勉強好きで、『人よりできる』と変なプライドを持っていた。が、そういう勉強がほとんどできない息子を見て、人間として本当に大事なものは、頭でなく心だと思う」……。

ある父親は「今の暮らしを楽しもう」といい、「息子に私のことを『パパ』と言わせたい。健常児であれば一年ちょっとで達成できる目標を数年かけて実現させたい」とその率直な願いを記している。

同会代表の平井秀夫さん（56）は、「障害児の父親も普通の人だと分かって欲しい。また、同じ立場で悩む人には、この会を役立てて欲しい」と訴えている。

A5判、百五十二ページ、ぶどう社（（電）03・3234・1450）刊で、税別千五百円。同会は市外からも参加でき、問い合わせはホームページ（<http://www.geocities.co.jp/SweetHome/3887/>）へ。

[支局トップへ戻る](#)

[地域情報とニュース](#)

[購読申し込みもインターネットでどうぞ](#)

[▲この画面の上へ](#)



・ご意見、ご要望はこちらへ ・広告について  
・FAQ ・写真のご提供はこちらへ COPYRIGHT THE YOMIURI SHIMBUN  
・YOLに掲載の記事、写真の無断転載を禁じます ・著作権、リンク、個人情報の取り扱いについては[こちら](#)

- ワイン&食
  - S a k e で乾杯！
- ▶生活
  - レバーフライ・東京
- ▶エンタメ
  - R・クロウ新作評
- ▶ブックスタンド
  - 子ども館
- ▶教育ワンダーランド
  - 小論文講座3月号
- ▶ネットてらこや
  - ネット博士クイズ
- ▶ジョブサーチ
  - 現代マスコミ事情
- ▶地域情報
  - 首都圏イベント